

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202205690007Z1	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座[上限外](総合科学科目) / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	読書レポート(30%) 授業レポート(30%) 最終レポート(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード/Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書/Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
第2回	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
第3回	部落問題と人権の今 (ビデオ視聴と講義)
第4回	教科書から土農工商が消えた? (講義)
第5回	アイヌ問題と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第6回	アイヌ問題と人権 (2) (講義)
第7回	在日外国人と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第8回	在日外国人と人権 (2) (講義)
第9回	セクシュアルマイノリティと人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第10回	セクシュアルマイノリティと人権 (2) (講義)
第11回	ハンセン病と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第12回	ハンセン病と人権 (2) (講義)
第13回	人権問題の解決のためのプログラム
第14回	人権問題の解決のためのワークショップ
第15回	原爆と部落とキリシタン

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202205690007Z2	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座[上限外](総合科学科目) / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	読書レポート(30%) 授業レポート(30%) 最終レポート(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード / Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
第2回	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
第3回	部落問題と人権の今 (ビデオ視聴と講義)
第4回	教科書から土農工商が消えた? (講義)
第5回	アイヌ問題と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第6回	アイヌ問題と人権 (2) (講義)
第7回	在日外国人と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第8回	在日外国人と人権 (2) (講義)
第9回	セクシュアルマイノリティと人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第10回	セクシュアルマイノリティと人権 (2) (講義)
第11回	ハンセン病と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第12回	ハンセン病と人権 (2) (講義)
第13回	人権問題の解決のためのプログラム
第14回	人権問題の解決のためのワークショップ
第15回	原爆と部落とキリシタン

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202205690011Z1	科目番号 / Course code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Course title	全学乗船実習[上限外](総合科学科目) / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	実習 / Practical Training
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部学生(1年生から4年生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yagi-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する時は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2809		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木・金の午後3時以降		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養モジュール科目の「食の安全と持続的な海洋食料資源の利用(人から見た水産業)」で学んだ内容を、より身近な問題として実践的な視点で捉えるため、附属練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。これらの体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業到達目標/Course goals	海洋および船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	実習への取り組み状況 70% レポート 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前講義(1h)実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等についての事前講義 船、海洋観測、トロール操業等に関する基礎知識 事後講義(1.5h)実習の総括、レポート課題等の説明等 ()事前・事後講義(於 文教キャンパス)および実習の日程は、別途通知する。		
キーワード / Keywords	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書 / Materials	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	・受講定員は40名(希望多数の場合は、抽選により受講者を決定する) ・受講者は、必ず傷害保険に加入すること。 ・受講にかかる費用として食費(4日分)および陸上関連施設利用料 計8,000円程度が別途必要		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	洋上での貴重な体験をできるのでぜひ積極的に参加して欲しい
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	八木光晴 / 大型漁業練習船での実務経験と海技免状取得経験 / 船舶の運用と水産漁業に関する基礎知識とその応用、および海技免状取得に向けた教育のために海技士資格を有する教員が指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	<p>実習 1 日目 乗船 船内ガイダンス（船内設備、注意事項等の説明） 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明、日没後プランクトン採集</p> <p>2 日目 天候・海況により、(1)～(3)のいずれかを実施 (1) 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習（於 東シナ海） (2) 海洋観測、ロープ結索演習、（於 操練が行える湾） (3) 海洋観測、船の位置測定練習、ロープ結索演習、（於 位置測定が行える湾）</p> <p>3 日目 入港、陸上水産施設（水族館等）の見学 4 日目 陸上水産施設（魚市場等）の見学、出港 魚類の加工（干し物等の作成） 5 日目 下船時のガイダンス（予定、注意事項等の説明） 下船 () 天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/01 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202205880248Z1	科目番号 / Course code	05880248
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15961_001		
授業科目名 / Course title	キャリア交流[上限外](総合科学科目) / Group Work with Company Members		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>社会人の方々との交流を通じた1年生向けの社会体験を行います。第一線で活躍する社会人の方々からお話を聞いたり、企業見学など実社会に出での実習を行ったりする講義です。</p> <p>3年生以降の就活時期ではなく、1年生の早い時期からこうした経験をする事で、「社会で働く」ということをリアルにイメージし、キャリアに対する希望を明確にすることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 実社会での体験を通して社会人に必要なスキルを理解し、自分が不足している能力について自己分析することができる。</p> <p>(2) 自己の適性やキャリアデザインについて考え、暫定的な将来の目標をたてることができる。</p> <p>(3) チームで共修・協働しながら、実習のための事前調査や事後報告などをまとめることができ、その内容についてわかりやすく発表することができる。</p> <p>(4) 企業担当者の指導・指示に従い、責任ある行動を心掛けることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>各回のレポート課題(88点)+ワーク課題(10点)+授業貢献度=合計100点のうち60点以上を合格とする。</p> <p>なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>予習(2h)...企業研究や課題に取り組み、LACSから提出。</p> <p>復習(2h)...課題やレポートに取り組み、LACSから提出</p> <p>予習・復習ともに詳細は毎回講義内で説明します。</p>		
キーワード/Keywords	キャリア探索、企業研究、社会体験、自己分析、社会人基礎力		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	土曜・夏休み期間中の集中講義です。事前に日程をよく確認してください。 日程など事前に確認したいことがある場合は、担当教員までメールで問い合わせてください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	インターンシップに参加するためには、保険に加入する必要があります。 通常は、入学時に手続きが完了しています。詳細は講義内で説明します。 <大学で加入できる保険> ・学生教育研究災害傷害保険 ・学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険 上記以外でも、自身の事故及び対人・対物への補償が含まれるものであれば問題ありません。
学生へのメッセージ/Message for students	あなたの人生(キャリア)は、誰と出会ったかで変わります。 この講義には、本学卒業生や起業家、経営者、人事担当者など個性的な社会人が登壇予定です。この講義で、大勢のキャリアロールモデルと出会ってください! 新型コロナウイルス感染症の状況次第で授業内容が変更する可能性があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにてニュース・報道番組のキャスター歴17年。政治家・経営者などにもスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。大学卒業後、放送局での正職員、契約職員、業務委託など様々な雇用形態を経て法人起業をした経験をもとに、職業選択だけでないキャリア形成について指導。学生が、主体的に自らのキャリアを切り拓くことを考える契機とする。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 6月25日(土)	オリエンテーション 場所：文教キャンパス 時間：12:50～14:20
第2回 6月25日(土)	企業経営者 起業家・アントレプレナーに聞く 外部講師：株式会社スチームシップ 場所：文教キャンパス 時間：14:30～16:00
第3回 6月25日(土)	企業経営者 地元Uターンの若手建築家に聞く 外部講師：株式会社 INTERMEDIA 場所：文教キャンパス 時間：16:10～17:40
第4回 7月2日(土)	外部講師：アークレイ株式会社 (医療機器製造・販売業) 場所：文教キャンパス 時間：12:50～14:20
第5回 7月2日(土)	社会に出る前に身に付けるべき力 ・社会人基礎力とは ・自己分析 場所：文教キャンパス 時間：14:30～16:00
第6回 7月2日(土)	社会に出る前に身に付けるべき力 ・職業選択のための軸をつくる ・「学生生活の過ごし方」事例研究 場所：文教キャンパス 時間：16:10～17:40

第7回 7月9日(土)	外部講師：株式会社ゼンリン (日本国内最大手の地図情報会社の技術職員に聞く) 場所：文教キャンパス 時間：12:50～14:20
第8回 7月9日(土)	外部講師：株式会社JR長崎シティ (「アミュプラザ長崎」の運営・管理) 場所：文教キャンパス 時間：14:30～16:00
第9回 7月9日(土)	外部講師：ANAテレマート株式会社 (航空輸送事業を主力とするANAグループ) 場所：文教キャンパス 時間：16:10～17:40
第10回 8月9日(火)	企業見学・インターンシップ 長崎県／金融・保険・証券など 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：10:30～12:00
第11回 8月9日(火)	企業見学・インターンシップ 長崎県／金融・保険・証券など 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：12:50～14:20
第12回 8月9日(火)	企業見学・インターンシップ 長崎県／金融・保険・証券など 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：14:30～16:00
第13回 8月10日(水)	外部講師：株式会社十八親和銀行 (金融・保険・証券) 場所：文教キャンパス 時間：12:50～14:20
第14回 8月10日(水)	外部講師：株式会社日本ベネックス (製造業) 場所：文教キャンパス 時間：14:30～16:00
第15回 8月10日(水)	総括・まとめ 場所：文教キャンパス 時間：16:10～17:40

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202205960011Z1	科目番号 / Course code	05960011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	キャリア開発 「プレゼンテーション基礎」[上限外](総合科学科目) / Career Development ''Presentation Basics''		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	プレゼンテーションについて講義と演習を行い、効果的なプレゼンテーションを行うための基本的知識を身につける。 スキルトレーニングを行いながら講義内で一つのプレゼンテーションを作り上げることで、実践的な技術の修得を目的とする。		
授業到達目標/Course goals	1. プレゼンテーションの基礎的な知識について説明できるようになる。 2. 目的に応じた効果的なプレゼンテーションを行うための案を立てることができるようになる。 3. 聴き手を意識したわかりやすい説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。 4. 他者のプレゼンテーションを評価することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(40点)+プレゼンテーション課題(40点)+ワーク課題(15点)+授業への取り組み(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習(2h)...パワーポイントで資料や原稿等を作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートやプレゼンテーション等作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	自己表現、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料配布、参考文献や参考動画をLACSで提示する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	日曜日開講の集中講義です。日程確認のうえ受講してください。 5月29日(日) 10時から17時20分 6月5日(日) 10時から17時20分 6月12日(日) 10時から17時20分 7月3日(日) 13時から17時20分
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	講義の集大成としてのプレゼンテーション大会には、プレゼンターとしての登壇、または審査員としての参加のどちらかを選ぶことが可能。
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーションは、ただ「場数」を踏んだだけでは上手くなりません。学術的な知識を知った上で行う正しい方法によるトレーニングが必要です。学生時代はもちろん、社会に出てからも必須であるプレゼンテーションスキルを身につけましょう。 「プレゼンは得意」「人前に出ることが好き」という方はもちろん、「プレゼンなんてしたことない」「緊張して頭が真っ白になる」と苦手意識を持っている方も大歓迎です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにてニュース・報道番組のキャスター歴17年。起業後、政治家・経営者などにスピーチ・プレゼンテーション指導を行う。講演・研修実績多数。 著書に『その話し方では軽すぎます! エグゼクティブが鍛えている「人前で話す技法」』(すばる舎) 『【NHK式+心理学】一分で一生の信頼を勝ち取る法』(ダイヤモンド社) などベストセラー多数。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 5月29日(日)	オリエンテーション
第2回 5月29日(日)	プレゼンテーションとは? プレゼンテーションの歴史、スピーチとプレゼンテーションの違い
第3回 5月29日(日)	言語・非言語概論
第4回 5月29日(日)	プレゼンテーション実践
第5回 6月5日(日)	言語スキルトレーニング ~話の組み立て方・言葉遣い
第6回 6月5日(日)	論理的に話す技法
第7回 6月5日(日)	伝わるプレゼンテーションのコツ
第8回 6月5日(日)	プレゼンテーション実践
第9回 6月12日(日)	非言語スキルトレーニング ~表情・ジェスチャートレーニング、ボイトレーニング
第10回 6月12日(日)	上手いプレゼンテーションとは?
第11回 6月12日(日)	プレゼンテーション評価の基準
第12回 6月12日(日)	プレゼンテーション実践
第13回 7月3日(日)	プレゼンテーション大会 プレゼンターまたは審査員参加 【注意】場所:中部講堂
第14回 7月3日(日)	プレゼンテーション大会 プレゼンターまたは審査員参加 【注意】場所:中部講堂
第15回 7月3日(日)	プレゼンテーション大会 プレゼンターまたは審査員参加 【注意】場所:中部講堂

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	202205960047Z1	科目番号 / Course code	05960047
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	九州学[上限外](総合科学科目) / Kyushu Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 選択科目, 総合科学科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	原則1年生(経済学部夜間主コースも含む)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自身が学生生活を営んでいる場がどのような背景を持つ土地であるのかを知るとともに、九州各県についても「歴史・文化」の視点から知識を得ることで、地域に対する魅力を探る。また、地域や世界の視点から「九州」について考えることで、「九州で九州を学ぶ」ことの意義を見出す。		
授業到達目標/Course goals	自身が興味を持った九州各県の「歴史・文化」の特徴や現状、課題について説明できる。 授業で取り上げた事物について、多角的に捉えて説明できる。 九州の魅力を様々な視点から考え、自己の考えを表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・小レポート25点×3回、最終レポート25点×1回 ・最終レポートを提出すること。 上記条件を満たし、合計100点のうち60点以上で合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACS等に資料を掲載するため、予め読んでおくこと。(2h) 各時間に提示された課題をLACSへ提出すること。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回～第7回	<p>以下10のトピック(予定)の中から、3つを選択して受講する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州大学 九州帝国大学と戦前期九州の高等教育機関(1) 九州大学 九州帝国大学と戦前期九州の高等教育機関(2) 九州大学 九州の水稲農耕の始まりと古人骨1 九州大学 九州の水稲農耕の始まりと古人骨2 佐賀大学 幕末の佐賀と学問－明治維新への道－1 佐賀大学 幕末の佐賀と学問－明治維新への道－2 長崎大学 長崎のキリスト教 長崎大学 近世の長崎 宮崎大学 牧水の短歌によむ故郷宮崎の自然 宮崎大学 牧水短歌の普遍性 宮崎大学 日向神話と神楽(1) 宮崎大学 日向神話と神楽(2) 鹿児島大学 稲盛和夫氏の経営哲学(1) 鹿児島大学 稲盛和夫氏の経営哲学(2) 熊本大学 九州の戦国動乱と戦場の村々 熊本大学 江戸時代の熊本自信と熊本城 熊本大学 教科書に出てくる熊本の荘園 熊本大学 現代に息づく荘園の祭り 鹿屋体育大学 現代に生きる薩摩の伝統的運動文化(1) 鹿屋体育大学 現代に生きる薩摩の伝統的運動文化(2)
第8回	まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	202205960047Z2	科目番号 / Course code	05960047
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	九州学[上限外](総合科学科目) / Kyushu Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 選択科目, 総合科学科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	原則1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自身が学生生活を営んでいる場がどのような背景を持つ土地であるのかを知るとともに、九州各県についても「歴史・文化」の視点から知識を得ることで、地域に対する魅力を探る。また、地域や世界の視点から「九州」について考えることで、「九州で九州を学ぶ」ことの意義を見出す。		
授業到達目標/Course goals	自身が興味を持った九州各県の「歴史・文化」の特徴や現状、課題について説明できる。 授業で取り上げた事物について、多角的に捉えて説明できる。 九州の魅力を様々な視点から考え、自己の考えを表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・小レポート25点×3回、最終レポート25点×1回 ・最終レポートを提出すること。 上記条件を満たし、合計100点のうち60点以上で合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACS等に資料を掲載するため、予め読んでおくこと。(2h) 各時間に提示された課題をLACSへ提出すること。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 集中講義で開講します。 11/1からLACSで資料が閲覧可能になります。
第2回～第7回	以下のトピックの中から、3つを選択して受講する。 九州大学 九州におけるシンクロトロン光利用研究(1) 九州におけるシンクロトロン光利用研究(2) 佐賀大学 有明海の環境(1) 有明海の環境(2) 大分大学 温泉学 - 大分の温泉 - (1) 温泉学 - 大分の温泉 - (2) 宮崎大学 南九州における魚・家畜の生産(1) 南九州のぶり類養殖とその環境 南九州における魚・家畜の生産(2) 粗飼料の自給と草地畜産 鹿児島大学 「九州の森林の生態系」回復と保全(1)～(5) 熊本大学 食の文化観光と伝統野菜の探訪 熊本の自然(植物編)と肥後の文化交流 熊本大学 肥後の温泉科学(1) 肥後は温泉天国 肥後の温泉科学(2) 体調に合わせた泉質選び
第8回	まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220569000701	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座 (総合科学科目) / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー / Office hours	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標 / Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	読書レポート (30%) 授業レポート (30%) 最終レポート (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード / Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
第2回	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
第3回	部落問題と人権の今 (ビデオ視聴と講義)
第4回	教科書から土農工商が消えた? (講義)
第5回	アイヌ問題と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第6回	アイヌ問題と人権 (2) (講義)
第7回	在日外国人と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第8回	在日外国人と人権 (2) (講義)
第9回	セクシュアルマイノリティと人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第10回	セクシュアルマイノリティと人権 (2) (講義)
第11回	ハンセン病と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第12回	ハンセン病と人権 (2) (講義)
第13回	人権問題の解決のためのプログラム
第14回	人権問題の解決のためのワークショップ
第15回	原爆と部落とキリシタン

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220569000702	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座 (総合科学科目) / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー / Office hours	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標 / Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	読書レポート (30%) 授業レポート (30%) 最終レポート (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード / Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
第2回	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
第3回	部落問題と人権の今 (ビデオ視聴と講義)
第4回	教科書から土農工商が消えた? (講義)
第5回	アイヌ問題と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第6回	アイヌ問題と人権 (2) (講義)
第7回	在日外国人と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第8回	在日外国人と人権 (2) (講義)
第9回	セクシュアルマイノリティと人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第10回	セクシュアルマイノリティと人権 (2) (講義)
第11回	ハンセン病と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第12回	ハンセン病と人権 (2) (講義)
第13回	人権問題の解決のためのプログラム
第14回	人権問題の解決のためのワークショップ
第15回	原爆と部落とキリシタン

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220569001101	科目番号 / Course code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Course title	全学乗船実習(総合科学科目) / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	実習 / Practical Training
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部学生(1年生から4年生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yagi-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する時は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2809		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木・金の午後3時以降		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養モジュール科目の「食の安全と持続的な海洋食料資源の利用(人から見た水産業)」で学んだ内容を、より身近な問題として実践的な視点で捉えるため、附属練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。これらの体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業到達目標/Course goals	海洋および船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	実習への取り組み状況 70% レポート 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前講義(1h)実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等についての事前講義 船、海洋観測、トロール操業等に関する基礎知識 事後講義(1.5h)実習の総括、レポート課題等の説明等 ()事前・事後講義(於 文教キャンパス)および実習の日程は、別途通知する。		
キーワード / Keywords	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書 / Materials	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	・受講定員は40名(希望多数の場合は、抽選により受講者を決定する) ・受講者は、必ず傷害保険に加入すること。 ・受講にかかる費用として食費(4日分)および陸上関連施設利用料 計8,000円程度が別途必要		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	洋上での貴重な体験をできるのでぜひ積極的に参加して欲しい
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	八木光晴 / 大型漁業練習船での実務経験と海技免状取得経験 / 船舶の運用と水産漁業に関する基礎知識とその応用、および海技免状取得に向けた教育のために海技士資格を有する教員が指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	<p>実習 1 日目 乗船 船内ガイダンス（船内設備、注意事項等の説明） 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明、日没後プランクトン採集</p> <p>2 日目 天候・海況により、(1)～(3)のいずれかを実施 (1) 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習（於 東シナ海） (2) 海洋観測、ロープ結索演習、（於 操練が行える湾） (3) 海洋観測、船の位置測定練習、ロープ結索演習、（於 位置測定が行える湾）</p> <p>3 日目 入港、陸上水産施設（水族館等）の見学 4 日目 陸上水産施設（魚市場等）の見学、出港 魚類の加工（干し物等の作成） 5 日目 下船時のガイダンス（予定、注意事項等の説明） 下船 () 天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588007201	科目番号 / Course code	05880072
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15801_001		
授業科目名 / Course title	ボランティアを通して地域を知る(総合科学科目) / Discover Your Community Through Volunteer Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 矢野 香 / Yano Kaori, 本多 直子 / Honda Naoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 矢野 香 / Yano Kaori, 本多 直子 / Honda Naoko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生, 2年生, 3年生, 4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeru_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科3階 井口教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7962		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8時30分-12時, 13時00分-17時30分/8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>少子・高齢化社会で生きていくために、ライフサイクルにおける課題を理解する。子どもたちの成長過程や親子の絆を学び、また高齢者については、介護の現実と介護者支援の必要性を理解する。講義の中で、実際にボランティアの機会を通して自らも成長し、社会のフィールドにおいて、豊かなコミュニケーション力を育むとともに地域課題に対する学びを深める。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのコミュニケーションにおいて、傾聴できるようになる。(自主的に考え発信する能力、) ・ボランティア体験を通して、地域で暮らす高齢者や子どもとその社会について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、 、) (自主的に考え発信する能力、) ・介護している人(介護者)の支援について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、 、) ・子育ての重要性について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、 、) ・ワークライフバランスについて、理解できるようになる。(グローバルかつ地域の視点から多様性を理解しようとする態度・志向性、) (論理的・批判的に物事を考える能力、) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題(40点)+レポート課題(40点)+グループワークへの貢献度(20点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：各講義の資料をweb上に掲載するので、あらかじめ目を通して講義の内容及び流れを把握しておくこと。(2h) 復習：講義のノート及びweb上の資料により復習し、疑問点などをまとめ、フィールドワークについても参加したボランティアの内容についてまとめること。(2h)		

キーワード/Keywords	高齢者、子ども、支援、ボランティア、地域
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する/ Distribute materials as necessary
受講要件（履修条件）/Prerequisites	指定された日時にフィールドワーク（ボランティア）に参加できること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	注釈：フィールドワークは、日程調整のうえ実施します。1回3時間とし、計2回分の講義（第8回と第10回）への出席・参加として評価します。
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、少子・高齢社会で生きる若い世代のみならず、高齢者や介護者支援、ボランティアについて一緒に考えます。今後社会に出て活躍する際に、自身のライフイベントとして避けては通れないことを一緒に考えていきましょう。興味がある方は、是非受講ください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	井口 茂 / 理学療法士として地域活動における実務経験 / 要介護者及び認知症の対象者について必要な基本的知識、技術を指導する。 本多直子 / 看護師として大学病院における実務経験 / 子育てにおける子どもの発達について必要な知識を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回：6月15日 5限目	ボランティア活動について（担当：井口）
2回：6月15日 6限目	フィールドワークに向けたオリエンテーションとグループワーク（担当：井口）
3回：6月22日 5限目	傾聴について（担当：井口）
4回：6月22日 6限目	傾聴について：演習（担当：井口）
5回：6月29日 5限目	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ（担当：矢野）
6回：6月29日 6限目	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ（担当：矢野）
7回：7月6日 5限目	認知症サポーター養成講座（担当：井口）
8回：7月6日 6限目	グループワーク：認知症高齢者に対する支援
9回：7月13日 5限目	フィールドワーク（担当：井口）
10回：7月13日 6限目	フィールドワーク（担当：井口）
11回：7月20日 5限目	こどもの心と身体の発育・発達（担当：本多）
12回：7月20日 6限目	こどもの心と身体の発育・発達（担当：本多）
13回：7月27日 5限目	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション（担当：井口）
14回：7月27日 6限目	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション（担当：井口）
15回：8月3日 5限目	高齢者に対する支援とボランティア（担当：井口）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588024801	科目番号 / Course code	05880248
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15961_001		
授業科目名 / Course title	キャリア交流(総合科学科目) / Group Work with Company Members		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>社会人の方々との交流を通じた1年生向けの社会体験を行います。第一線で活躍する社会人の方々からお話を聞いたり、企業見学など実社会に出での実習を行ったりする講義です。</p> <p>3年生以降の就活時期ではなく、1年生の早い時期からこうした経験をする事で、「社会で働く」ということをリアルにイメージし、キャリアに対する希望を明確にすることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 実社会での体験を通して社会人に必要なスキルを理解し、自分が不足している能力について自己分析することができる。</p> <p>(2) 自己の適性やキャリアデザインについて考え、暫定的な将来の目標をたてることができる。</p> <p>(3) チームで共修・協働しながら、実習のための事前調査や事後報告などをまとめることができ、その内容についてわかりやすく発表することができる。</p> <p>(4) 企業担当者の指導・指示に従い、責任ある行動を心掛けることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>各回のレポート課題(88点)+ワーク課題(10点)+授業貢献度=合計100点のうち60点以上を合格とする。</p> <p>なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>予習(2h)...企業研究や課題に取り組み、LACSから提出。</p> <p>復習(2h)...課題やレポートに取り組み、LACSから提出</p> <p>予習・復習ともに詳細は毎回講義内で説明します。</p>		
キーワード/Keywords	キャリア探索、企業研究、社会体験、自己分析、社会人基礎力		

教科書・教材・参考書/Materials	なし
受講要件（履修条件）/Prerequisites	土曜・夏休み期間中の集中講義です。事前に日程をよく確認してください。 日程など事前に確認したいことがある場合は、担当教員までメールで問い合わせてください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	インターンシップに参加するためには、保険に加入する必要があります。 通常は、入学時に手続きが完了しています。詳細は講義内で説明します。 <大学で加入できる保険> ・学生教育研究災害傷害保険 ・学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険 上記以外でも、自身の事故及び対人・対物への補償が含まれるものであれば問題ありません。
学生へのメッセージ/Message for students	あなたの人生(キャリア)は、誰と出会ったかで変わります。 この講義には、本学卒業生や起業家、経営者、人事担当者など個性的な社会人が登壇予定です。この講義で、大勢のキャリアロールモデルと出会ってください! 新型コロナウイルス感染症の状況次第で授業内容が変更する可能性があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにてニュース・報道番組のキャスター歴17年。政治家・経営者などにもスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。大学卒業後、放送局での正職員、契約職員、業務委託など様々な雇用形態を経て法人起業をした経験をもとに、職業選択だけでないキャリア形成について指導。学生が、主体的に自らのキャリアを切り拓くことを考える契機とする。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 6月25日(土)	オリエンテーション 場所：文教キャンパス 時間：12:50～14:20
第2回 6月25日(土)	企業経営者 起業家・アントレプレナーに聞く 外部講師：株式会社スチームシップ 場所：文教キャンパス 時間：14:30～16:00
第3回 6月25日(土)	企業経営者 地元Uターンの若手建築家に聞く 外部講師：株式会社 INTERMEDIA 場所：文教キャンパス 時間：16:10～17:40
第4回 7月2日(土)	外部講師：アークレイ株式会社 (医療機器製造・販売業) 場所：文教キャンパス 時間：12:50～14:20
第5回 7月2日(土)	社会に出る前に身に付けるべき力 ・社会人基礎力とは ・自己分析 場所：文教キャンパス 時間：14:30～16:00
第6回 7月2日(土)	社会に出る前に身に付けるべき力 ・職業選択のための軸をつくる ・「学生生活の過ごし方」事例研究 場所：文教キャンパス 時間：16:10～17:40

第7回 7月9日(土)	外部講師：株式会社ゼンリン (日本国内最大手の地図情報会社の技術職員に聞く) 場所：文教キャンパス 時間：12:50～14:20
第8回 7月9日(土)	外部講師：株式会社JR長崎シティ (「アミュプラザ長崎」の運営・管理) 場所：文教キャンパス 時間：14:30～16:00
第9回 7月9日(土)	外部講師：ANAテレマート株式会社 (航空輸送事業を主力とするANAグループ) 場所：文教キャンパス 時間：16:10～17:40
第10回 8月9日(火)	企業見学・インターンシップ 長崎県/金融・保険・証券など 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：10:30～12:00
第11回 8月9日(火)	企業見学・インターンシップ 長崎県/金融・保険・証券など 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：12:50～14:20
第12回 8月9日(火)	企業見学・インターンシップ 長崎県/金融・保険・証券など 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：14:30～16:00
第13回 8月10日(水)	外部講師：株式会社十八親和銀行 (金融・保険・証券) 場所：文教キャンパス 時間：12:50～14:20
第14回 8月10日(水)	外部講師：株式会社日本ベネックス (製造業) 場所：文教キャンパス 時間：14:30～16:00
第15回 8月10日(水)	総括・まとめ 場所：文教キャンパス 時間：16:10～17:40

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588025401	科目番号 / Course code	05880254
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16011_002		
授業科目名 / Course title	現代社会を生きる(総合科学科目) / Study of Contemporary Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	持続可能な社会を作る上において、「主体的に社会の形成に参画しようとする態度」が必要であり、 そのためには、公職選挙法等一部の改正、民法の改正など現代社会でどのような変化があるか、 今どんな問題が自分らの前にあるかを考え生活していく必要がある。 この講義では、主権者教育、租税教育、消費者教育の観点での知識を習得し、主権者意識、 消費者意識を高め、他者と連携・協働しながら、主体的に社会の形成に関わる思考・態度を身につける。		
授業到達目標/Course goals	主権者教育、租税教育、消費者教育の観点での基礎的知識を身に付ける 主体的に社会の形成に関わる思考・態度を身につける。 地域社会への貢献を考えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題提出による累積した点数およびグループワークを通じたプレゼン内容により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	LACSにおいて、事前・事後の授業資料を提示するため授業外に活用すること(各2h)		
キーワード/Keywords	主権者教育、租税教育、消費者教育		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	外部講師によるものです。また、消費者教育においては、グループでプレゼン資料を作成し発表する時間が多くあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎県選挙管理委員会、北部九州税理士会、長崎県消費者センターの各専門分野の外部講師によるものである。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 - 2 回	消費者教育 (貸付トラブル、訪問販売、情報サイトのトラブル、キャッチセール等の事例とその対処について) など、消費者市民社会の構築にむけ考える。
3 - 6 回	租税教育 (我が国の租税の構造, 租税法の基本原則など)
7 -12回	消費者教育 (貸付トラブル、訪問販売、情報サイトのトラブル、キャッチセール等の事例とその対処について) など、各グループでまとめ発表・相互評価することで、消費者市民社会の構築への考えを深める。
13-14回	主権者教育
15回	まとめ (これまでの授業を総括する)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220588026401	科目番号 / Course code	05880264
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16631_002		
授業科目名 / Course title	経験学習実践論(総合科学科目) / Practical Theory of Experiential Learning		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】 皆さんは高い志を持ち、目標を達成したくて大学に入学されたことと思います。日々、学びを継続することは自身との戦いであり、苦勞なさっている方も多いことでしょう。勉強に限らず、「今日はやろう」「明日こそやろう」と思っているにもかかわらず行動に踏み出せないときがあります。本科目では、たとえば、毎日5分間だけ使って自分ができたことを見つけ、週一回10分間振り返る行動を継続することによって、自ら新しい行動を見出していきます。そしてその行動の中で自分の良さに気づき“ありたい姿”を発見することを目指して学修を進めます。学修するメソッドの各要素は「行動科学」、「認知科学」、「情動コントロール」、「協働学習」の知見に基づいて設計されています。</p> <p>教室内で受講する対面授業を前提としています。初回は、毎日取り組む課題を確認します。第2回～第4回は、ペアワークを通じて、経験を効果的に学ぶ方法、感情の制御方法、行動変容を定着化させる技術について学びます。その際、コラボレーションツールを使って、教員と学生の間および学生同士で意思疎通を図ります。第5回～第8回は、数名で構成されるグループに分かれて、日々学習してきたことについて情報交換して、グループとしてアピールすることをまとめます。さらに、ワールドカフェを行って他グループとの情報共有に取り組み、その結果を自グループの改善に結びつけます。</p> <p>【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における自由選択科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	以下の5つの技術を座学と演習によって身につけることができます。 <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を高める手法として、できたことを見つける技術を活用できるようになる 自分の感情を見つめる手法として、感情コントロール技術を活用できるようになる 経験から学び行動分析する思考法として、論理的思考法と批判的思考法を活用できるようになる 内省から見出した行動計画の実践法として、行動変容技術を活用できるようになる 自分の軸を見出す技術として、ありたい姿抽出技術を活用できるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	教材で活用する「できたこと手帳」に対し、十分な量と質で書かれているか、総合的に判断して決定する。なお、最終校時に記述するレポート内容も成績評価に含まれる。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H) 【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H) 【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】永谷研一『できたこと手帳』, クロスメディア・パブリッシング, 2017年 . ISBN : 9784295401100 【参考書】永谷研一『月イチ10分できたことを振り返りなさい』, ダイヤモンド社, 2018年 . ISBN : 9784478105221
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト： https://dekitakoto.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	できたことノートの方法の体験を通じて、行動科学、認知科学、情動科学が学べるとても有意義な授業となっています。 今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとも重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
6月15日(水) 3校時	【ガイダンス】 ・授業の概要 ・授業で利用するコラボレーションツールの環境設定と演習 ・この授業に臨むにあたって
6月22日(水) 3校時	【自分を肯定的に見る効果】 ・欠けている部分に目がいくのは人間の習性 ・「できたこと」を見つけよう 【「できたこと」を磨こう】 ・ありたい姿が見つかる「ベストできたこと」! ・「できたこと」から新たな行動を導く経験学習法とは
7月6日(水) 3校時	【感情をコントロールする】 ・情動知能 Emotional Intelligence を学ぶ ・クリティカルシンキングと目的思考
7月6日(水) 4校時	【行動変容力を身につける】 ・できたことメモからできたこと気付き日記へ ・行動を習慣化する7つの技術
7月20日(水) 3校時	【クリティカル・シンキング技術を学ぶ】 ・できたことを健全に疑ってみる ・創造的な行動変容を導き出す

7月20日(水) 4校時	【ありたい姿発見ワーク】 <ul style="list-style-type: none">・揺らぎのない自信を獲得するプロセス・自分のありたい姿を発見する
7月27日(水) 3校時	【経験学習実践論まとめ】 <ul style="list-style-type: none">・経験学習実践論まとめ・相互に学び合うフィードバック技術
7月27日(水) 4校時	【さらなる行動実践に向かって】 <ul style="list-style-type: none">・全体を通じて学んだこと(ワールドカフェ)・明日からの自分へのエールを(レポート記述)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588026701	科目番号 / Course code	05880267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16661_002		
授業科目名 / Course title	今と昔の長崎に遊ぶ(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Enjoy Thinking about Old and Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉良 史明 / Kira Fumiaki, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 布袋厚 / Atsushi Hotei, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 王 維 / Wang Wei, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 出水 享, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, TOET RUDY, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉良 史明 / Kira Fumiaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉良 史明 / Kira Fumiaki, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 布袋厚 / Atsushi Hotei, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 王 維 / Wang Wei, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 出水 享, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, TOET RUDY, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kira_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部625研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2299		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5限、木曜日2限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、長崎の歴史・文化・経済・言語・哲学等のプロフェッショナル15人が、長崎の隠された魅力を講義し、学生のみなさんとともにその魅力をさらに深く探求していきます。 みなさんがご存知の通り、長崎は諸外国との窓口の役割を長らく果たしてきました。ポルトガル・オランダ・中国を始め、外国の文化が流れ込み、日本の文化と融合した都市、それが長崎です。つまり、グローバル化が叫ばれる現代に先駆けて、数百年も前からグローバル化が行われていたのです。その長崎文化の魅力と本質を長崎という文化空間に即して解明すること、いうなればグローバル(グローバルとローカルを掛けた造語)な視点からの検証を行うことが本講義の目的です。長崎の地に住んだ人々がどのように長崎の文化を形作ってきたのか。15回の講義を通して、幅広い教養を身に付け、その教養を駆使して、この疑問に対する答えをともに導き出していましよう。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、今と昔の長崎の魅力を深く探求し、その魅力を学生のみなさん一人一人が国内外に向けて発信していけるようになることを大きな目標として掲げます。以下は、その詳細です。 様々な文献・資料に基づき、長崎の魅力を調べることができる。 長崎の町がどのようにして作られてきたか、歴史に照らして考察することができる。 深く探求した長崎の魅力と歴史的な位置付けを自身の言葉で取りまとめ、様々な人に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>成績評価は、次の2つの項目から行います。</p> <p>期末レポート 30%</p> <p>全15回の講義から得たヒントをもとに、みなさんが長崎の文化を詳しく調べ、その魅力をレポートに取り纏めるものです。いまだ解き明かされていない長崎文化の魅力にみなさんがどのようにアプローチするか、独創的かつ具体的なレポートであることを重視します。</p> <p>コメントカード 70%</p> <p>各回の授業終わりの10分間を使い、その回の講義から学んだこと、疑問、御自身の考え等をコメントカードとしてGoogle Form等に記入します。</p>	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習においては、教科書の内容を読んでおくこと。また、長崎の文化に関して、各回授業のキーワードをもとに図書館2階配架の参考書籍を読み、調べてくること(各回2時間程度の予習)。</p> <p>また、事後学習にあたっては、授業内容、さらに参考書籍を再度読み直し、自身独自の観点から長崎文化を深く探求すること。さらに、長崎歴史文化博物館と本学はキャンパスメンバーズの提携をしており、無料で常設展特別展を観覧できます。同博物館には長崎の歴史文化を物語る数多くの資料が収蔵展示されていますので、学期中一度は足を運んで下さい。(各回2時間程度の復習かつ独自学習)。</p>	
キーワード/Keywords	長崎、詳細は各回の授業キーワードを参照	
教科書・教材・参考書/Materials	『今と昔の長崎に遊ぶ』(九州大学出版会、2021年)。また、参考書は、図書館2階に授業資料コーナーを作り配架していますので、皆さんぜひ積極的に読んで下さい。参考書は、各回担当教員の著書、また学術論文等です。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	長崎に興味がある方は、どなたでも大歓迎です!	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんがいまいるこの長崎は、国内はもちろん世界からも注目されている街です。長崎の魅力を深く、そして多角的に考えることを通して、その魅力を世界に向けて発信していきましょう。また、グローバル化社会に生きる私たちが明日をより良く生きるための力とヒントが長崎の街には隠されています。その隠されたヒントをとともに見つけていきましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 4月13日	巨樹の記憶 増崎英明 《被爆クスノキ》	A B
第2回 4月20日	ポルトガル人が聞いた室町末期の長崎ことば 前田 桂子 《長崎方言》	A B
第3回 4月27日	近世貿易都市長崎の特質を考える 尾曲がり猫はどこからきたか 木村直樹 《長崎貿易》	A B
第4回 5月11日	交響する長崎の中国文化 おどり、りょうり、まつり 王維 《中国文化》	A B
第5回 5月18日	長崎八景 漢詩から長崎版画へ 中島貴奈 《長崎名所》	A B
第6回 5月25日	原爆投下直前の長崎 とくに長崎大学の前身とキャンパスの歴史について 布袋厚 《原爆 長崎の古地図》	A B
第7回 6月1日	出島オランダ商館で書かれた最後の日本文典の成立とその背景 TOET RUDY 《『日本文法試論』》	A B
第8回 6月8日	幕末期における長崎のグラバー商会と志士たち 長州藩・薩摩藩のイギリス留学 田口由香 《幕末の志士》	A B
第9回 6月15日	長崎における海軍伝習 南森茂太 《海軍伝習》	A B
第10回 6月22日	倉場富三郎が遺した日本西部及南部魚類図譜(通称:グラバー図譜) 山口敦子 《グラバー図譜》	A B

第11回 6月29日	軍事都市としての長崎 大平晃久 《軍事都市》	A B
第12回 7月6日	長崎に誕生した西洋式病院 安武敦子 《西洋式建築》	A B
第13回 7月13日	長崎の岬を3Dで表現してみる 全炳徳 《長崎の岬》	A B C D
第14回 7月20日	軍艦島の今と未来 出水享 《軍艦島》	A B
第15回 7月27日	武士が、砂糖で、商人へ 長崎の明治期士族授産事業からみる「近代知」の流れ 井手弘人 《知識と社会,「中央」と「地方」》	A B D

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588026801	科目番号 / Course code	05880268
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16671_002		
授業科目名 / Course title	アントレプレナーシップ入門(総合科学科目) / Introduction to Entrepreneurship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上條 由紀子, 原口 唯		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上條 由紀子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上條 由紀子, 原口 唯		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工 学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kami.jo@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 上條由紀子) yui.h.nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 原口唯) メール連絡時は、必ず両教員宛に同報して下さい。 を@に置き換えて送信してください。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務室: 平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業内容に関する質問等は、原則として授業実施日の授業前後の時間帯に受け付けます。別途面談 等を希望する場合は、担当教員宛にメールで事前にアポイントを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、アントレプレナーシップの基礎を学習します。変化が激しく不確実性の高い現代において、解決すべき課題を探求し、自立心・向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナーが必要とされています。本授業では、自分自身のキャリア構築につなげる視点を持ちながら、アントレプレナーに必要なマインドセット(アントレプレナーシップ)や必要なスキルについて学習します。</p> <p>アントレプレナーシップを発揮するためには、自分自身と対峙し「自分らしさ」を探求し、自己理解を深めた上で自らと社会との関係性に目を向け、社会に対してどのようなアクションができるか、アイデアを創出することが重要となります。本授業ではワークショップ形式で「自分らしさ」の探求とアクションへのつなげ方を学習します。</p> <p>さらに、ベンチャー、大企業、官公庁など実社会の様々な現場において、課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジされている実務家や起業家の方々の講演を通じて、実践的な取り組みとアントレプレナーシップの重要性について学習します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身と対峙し「自分らしさ」を探求し、自己理解を深めた上で、自らと社会との関係性に目を向け、社会に対してどのようなアクションをしたらよいのか、アイデアを創出することができるようになる。 ・国際(グローバル)、社会(ソーシャル)、地域(ローカル)、技術(テクノロジー)、SDGsなどの多面的な視野・視座・視点を持って様々な課題を捉え、それを解決するため新しい価値創造にチャレンジすることができるマインドセット(アントレプレナーシップ)とはどのようなものかを知り、それに必要となる基礎的なスキルを理解し、自立心を持って第一歩を踏み出せるようになる。 ・本授業では、産・官・学・公など様々なセクターで実務に携わっている社会人、ベンチャー企業の社長、企業で新規事業立上げを行っている方などの講義や彼らとの対話を通じて、「アントレプレナーシップ」とは何かを知り、自分自身のキャリアにおいて「アントレプレナーシップ」を身につける意義と重要性を学ぶことができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への出席状況および授業への参加状況（発言、質問等）30点、授業毎に提出する課題レポート70点、合計100点として教員が総合的に評価する（60点以上を合格とする）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる資料やプリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと（2h）。事後学習として、授業後に出された課題レポートを作成しLACS等を通じて提出すること（2h）。
キーワード/Keywords	アントレプレナー、キャリア、アントレプレナーシップ、企業家精神、自己理解、イノベーション、テクノロジー、事業機会、ベンチャー、スタートアップ、ソーシャルビジネス、SDGs、プラネタリーヘルス、地域創生、アイデア創出、組織、チーム、ファイナンス、資金調達
教科書・教材・参考書/Materials	授業前または授業後においてPDF資料等を配布する。 <参考書> ・アントレプレナーシップ入門ーベンチャーの創造を学ぶ（忽那 憲治、長谷川 博和他著） ・はじめてのアントレプレナーシップ論（中村博樹著） ・入門 起業の科学（田所雅之著） ・日経文庫経営学入門シリーズ ベンチャー企業（松田修一著）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件（履修条件）は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アイデア創出・デザイン思考入門」（2Q）、「事業創造・スタートアップ入門」（3Q）を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	不確実性が高く先読みが難しい現代において、自立心、向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジする「アントレプレナーシップ」は、学生諸君皆さんに身に付けてほしいマインドセットであり、どのような問題に面しても、それを乗り越えて未来に進んでいく力につながります。多くの学生諸君の参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	上條由紀子/菊池紳/山口豪志/小松崎友子/平田一茂/鎌田勇利/三浦豪/森朝香 他 授業実施方法、最新のゲスト講師及びスケジュールの変更、講師実務経験内容等、最新情報はWEBサイトを参照すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回：4月13日（水）5・6時限	・オリエンテーション（授業概要及び進め方） ・アントレプレナーシップとは何か ・イノベーションとアントレプレナーシップ ・アントレプレナーとはどのような人か ・アントレプレナーシップを発揮するには？ ・ゲスト講師による講演/グループディスカッション/質疑応答
第3～4回：4月20日（水）5・6時限	・自分探求とは？～自分らしさがいない人はいない～
第5～6回：4月27日（水）5・6時限	・自分らしさを探求するワークショップ 「過去・現在・未来の自分『らしさ』を追求する」
第7～8回：5月11日（水）5・6時限	・起業家のケーススタディ 「社会と共創しながら熟達していく」とは？
第9～10回：5月18日（水）5・6時限	・まとめ：自分らしさを言語化しアクションにつなげるには？

第11～12回：5月25日（水）5・6時限	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者ケーススタディ グループディスカッション／質疑応答 ・起業者ケーススタディ グループディスカッション／質疑応答
第13～14回：6月1日（水）5・6時限	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者ケーススタディ グループディスカッション／質疑応答 ・起業者ケーススタディ グループディスカッション／質疑応答
第15回：6月8日（水）5時限	あなたにとってのアントレプレナーシップについて考える／総括・まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588026901	科目番号 / Course code	05880269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16681_002		
授業科目名 / Course title	アイデア創出・デザイン思考入門(総合科学科目) / Introduction to Idea Creation and Design Thinking		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上條 由紀子, 原口 唯		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上條 由紀子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上條 由紀子, 原口 唯		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kami jo nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 上條由紀子) メール連絡時は、必ず両教員宛に同報して下さい。 は@に置き換えて送信してください。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務局: 平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールまたは電話でアポイントを取って下さい。面談等は原則として授業実施日の授業前後の時間帯になります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、「問いの立て方」、「アイデアを創出する技術(創造技法)」、「ファンクショナル・アプローチ」及び「デザイン思考」を学習します。これらは、多面的な視野・視座・視点を持ちながら問題を発見し、それらを解決するアイデアを考案してイノベーション創出につなげるために必要な入門スキルです。本授業では「問いの立て方」として、いい問いとは何かを考えることを通じて、いい問いの立て方について学びます。そして、「アイデアを創出する技術」として問題発見、アイデア発想、アイデア発展の基礎的手法を学習します。次に、問題解決へ取り組む際、ファンクション(機能・効用・役割・意図・目的・狙い等)に置き換えてから解決する革新的技術である「ファンクショナル・アプローチ」を学びます。最後に、顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法である「デザイン思考」の基礎について学習します。なお、本授業では講義と演習(グループワーク)を組み合わせて実施します。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・いい問いは何かを考えることを通じて、いい問いの立て方について習得できる。 ・アイデアを創出する技術(創造技法)として、問題発見、アイデア発想、アイデア発展に関する基礎的手法を習得できる。 ・問題解決へ取り組むに当たり、一度ファンクション(機能・効用・役割・意図・目的・狙い等)に置き換えてから解決を試みる革新的な技術であるファンクショナル・アプローチの基礎を習得できる。 ・顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法であるデザイン思考のプロセス(共感・理解・定義・アイデア創出・プロトタイプ・テスト)について習得できる。 ・アイデア創出手法や問題解決手法を習得することにより、自身や社会の問題・課題に対して新しい選択枝や解決手段を創り出せるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への出席状況及び参加態度（質問・発言等）30点、グループワーク演習取り組み状況40点、課題レポート30点、合計100点として教員が総合的に評価する（60点以上を合格とする）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる資料・プリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと(2h)。事後学習としてグループワーク演習に対する課題や復習課題としてのレポートを作成しLACS等を通じて提出すること(2h)。
キーワード/Keywords	問いの立て方、アイデア、創造力、創造技法、ファンクショナルアプローチ、デザイン思考、問題解決、ブレインストーミング、ワークショップ、顧客視点、コミュニケーション、イノベーション、アントレプレナー
教科書・教材・参考書/Materials	授業において資料・プリント教材を配布する。 <参考書> ・問いの立て方（ちくま新書）（宮野公樹著） ・アイデア・スイッチ（石井力重著） ・考具（加藤昌治著） ・「誰のため?」「何のため?」から考えよう GE流・問題解決の技術「ファンクショナル・アプローチ」のすすめ（横田尚哉著） ・デザイン思考が世界を変える:イノベーションを導く新しい考え方（ティム・ブラウン著）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件（履修条件）は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アントレプレナーシップ入門」（1Q）、「事業創造・スタートアップ入門」（2Q）を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	不確実性が高く先読みが難しい現代において、課題を発見し、その課題の解決策を自ら創り出すスキルはアントレプレナーを目指す方のみならず、学生諸君皆さんに身に付けてほしい武器であり、自立心を持って未来を生き抜く力につながります。新しいアイデアを創り出して、自分や社会の課題解決に取り組んでみたい学生諸君の参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	上條由紀子/宮野公樹/石井力重/大塚智子/横田尚哉/三宅泰世（予定） 授業実施方法、ゲスト講師及びスケジュールの変更、講師実務経験内容等、最新情報はWEBサイトを参照すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回：6月15日（水）5・6時限	問いの立て方を学ぶ いい問いとは何かを考える / 「いい問い」にする方法 / 「いい問い」の見つけ方
第2回：6月22日（水）5・6時限	アイデアを創出する技術（1）：問題発見、アイデア発想、アイデア発展を学ぶ。 発想の特性 / ブレインストーミング・カード / 6観点 演習：アイデアの型（SCAMPER法）
第3回：6月29日（水）5・6時限	アイデアを創出する技術（2）：問題発見、アイデア発想、アイデア発展を学ぶ。 演習：PPGプレスト / エクスカーション / カラーバス
第4回：7月6日（水）5・6時限	アイデアを創出する技術（3）：問題発見、アイデア発想、アイデア発展手法を学ぶ。 演習：Zebraプレスト / フェルミ推定 / アイデア・ピボット
第5回：7月13日（水）5・6時限	ファンクショナル・アプロ チ：問題解決手法として、ファンクション（機能、効用、役割、意図、目的、狙い等）に置き換えてから解決する革新的技術について学ぶ。
第6回：7月20日（水）5・6時限	デザイン思考（1）：デザイン思考とは何か、デザイン思考のプロセス（共感・理解、定義、アイデア創出、プロトタイプ、テスト）について学ぶ。
第7回：7月27日（水）5・6時限	デザイン思考（2）デザイン思考を活用した事例を知る。 演習：デザイン思考グループワーク演習
第8回：8月3日（水）5時限	アイデア創出・問題解決手法を活用した総合演習 / 総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220590090501	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	平和講座 (総合科学科目) / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 森永 玲 / Morinaga Ryo, 冨塚 明 / Tomiduka Akira, 昔 宣希 / Suk Sunhee		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 森永 玲 / Morinaga Ryo, 冨塚 明 / Tomiduka Akira, 昔 宣希 / Suk Sunhee		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ytomozawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部4階環439		
担当教員TEL / Tel	095-819-2784		
担当教員オフィスアワー / Office hours	まずメールでアポイントをお願いします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事し、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標 / Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平常点60% + レポート40% = 100%のうち、60%以上を合格とする。平常点は毎回異なる講師が講義を行い、その都度レスポンスシートを課す形式で評価する。(期末試験はありません。)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館 (月曜休館、JR長崎駅前のNHK長崎放送局横の西坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先) を訪問してください。そのレポートを提出すれば加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。【4h】		
キーワード / Keywords	戦争、暴力、構造的暴力、平和、格差、原爆、原発、有事体制、イラク戦争、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しない。プリント資料の配布、スライド、映像の視聴などを活用して、講義の理解を深める。参考書として、戸田清『人はなぜ戦争をするのか』(法律文化社、2019)、高橋真司・舟越耿一編『ナガサキから平和学する!』(法律文化社、2009)、ヨハン・ガルトゥング・藤田明史編著『ガルトゥング平和学入門』(法律文化社、2003)。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	とくになし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	戸田清研究室ホームページ http://todakiyosi.web.fc2.com/
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	山川 剛 氏：8歳で被爆後、小学校教員として勤める。長崎平和推進協議会、長崎証言の会、長崎被爆教職員会の会員として、1998年以來、被爆体験講義等を行ってきた経験を有する。 森永 玲 氏：長崎新聞社報道部を経て同社取締役。長崎の平和運動に関する取材経験と複数の編著書がある。 西岡 由香 氏：漫画家。「さらん」のペンネームも持つ。1999年に平和団体ピースポート主催による地球一周クルーズへの参加をきっかけに、郷土史（キリスト教関係など）と長崎原爆をテーマにした漫画を数多く執筆している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/13)	イントロダクション (友澤悠季)
第2回 (4/20)	被爆とその後 (山川剛)
第3回 (4/27)	山口彊と二重被爆 (山崎年子・原田小鈴)
第4回 (5/11)	福田須磨子 (1922-1974) の生涯 (友澤悠季)
第5回 (5/18)	なぜ長崎に原爆が投下されるに至ったか (冨塚明)
第6回 (5/25)	核兵器とはなにか・科学者の社会的責任とは (冨塚明)
第7回 (6/1)	ナチス・ドイツのホロコースト (T4作戦) とアイヒマン的暴力 (戸田清・友澤悠季)
第8回 (6/8)	本島等 (1922-2014) と戦争責任の問題 (森永玲)
第9回 (6/15)	世界の軍事情勢はいま (篠崎正人)
第10回 (6/22)	満蒙開拓団と性暴力 (国武雅子)
第11回 (6/29)	日本軍「慰安婦」問題 (国武雅子)
第12回 (7/6)	韓国の歴史教育 (昔宣希)
第13回 (7/13)	Q&Aで考える日米安保 (冨塚明)
第14回 (7/20)	継承の回路としての漫画 (西岡由香)
第15回 (7/27)	食品公害・カネミ油症事件の現在 (下田順子)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220590090502	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	平和講座 (総合科学科目) / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 森永 玲 / Morinaga Ryo, 冨塚 明 / Tomiduka Akira, 昔 宣希 / Suk Sunhee		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 森永 玲 / Morinaga Ryo, 冨塚 明 / Tomiduka Akira, 昔 宣希 / Suk Sunhee		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ytomozawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部4階環439		
担当教員TEL / Tel	095-819-2784		
担当教員オフィスアワー / Office hours	まずメールでアポイントをお願いします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事し、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標 / Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平常点60% + レポート40% = 100%のうち、60%以上を合格とする。平常点は毎回異なる講師が講義を行い、その都度レスポンスシートを課す形式で評価する。(期末試験はありません。)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館 (月曜休館、JR長崎駅前のNHK長崎放送局横の西坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先) を訪問してください。そのレポートを提出すれば加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。【4h】		
キーワード / Keywords	戦争、暴力、構造的暴力、平和、格差、原爆、原発、有事体制、イラク戦争、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しない。プリント資料の配布、スライド、映像の視聴などを活用して、講義の理解を深める。参考書として、戸田清『人はなぜ戦争をするのか』(法律文化社、2019)、高橋真司・舟越耿一編『ナガサキから平和学する!』(法律文化社、2009)、ヨハン・ガルトゥング・藤田明史編著『ガルトゥング平和学入門』(法律文化社、2003)。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	とくになし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	戸田清研究室ホームページ http://todakiyosi.web.fc2.com/
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	川副 忠子 氏：1歳で被爆後、小学校教員として勤める。長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会、原水爆禁止長崎県民会議等での活動経験を有する。 森永 玲 氏：長崎新聞社報道部を経て同社取締役。長崎の平和運動に関する取材経験と複数の編著書がある。 関口 達夫 氏：フリージャーナリスト。元・NBC長崎放送社員として長年、国内・海外を取材し、戦争とその加害・被害に関する報道番組を制作した経験を有する。 西岡 由香 氏：漫画家。「さらん」のペンネームも持つ。1999年に平和団体ピースポート主催による地球一周クルーズへの参加をきっかけに、郷土史（キリスト教関係など）と長崎原爆をテーマにした漫画を数多く執筆している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (9/28)	イントロダクション (友澤悠季)
第2回 (10/5)	被爆とその後 (川副忠子)
第3回 (10/12)	山口彊と二重被爆 (山崎年子・原田小鈴)
第4回 (10/19)	福田須磨子 (1922-1974) の生涯 (友澤悠季)
第5回 (10/26)	外国人被爆者と岡正治 (1918-1994) (関口達夫)
第6回 (11/2)	ナチス・ドイツのホロコースト (T4作戦) とアイヒマン的暴力 (戸田清・友澤悠季)
第7回 (11/9)	核兵器とはなにか・科学者の社会的責任とは (冨塚明)
第8回 (11/16)	本島等 (1922-2014) と戦争責任の問題 (森永玲)
第9回 (11/30)	戦争と敵基地攻撃能力 (仮) (関口達夫)
第10回 (12/7)	満蒙開拓団と性暴力 (国武雅子)
第11回 (12/14)	日本軍「慰安婦」問題 (国武雅子)
第12回 (12/21)	韓国の歴史教育 (昔宣希)
第13回 (1/11)	Q&Aで考える日米安保 (冨塚明)
第14回 (1/18)	継承の回路としての漫画 (西岡由香)
第15回 (1/25)	食品公害・カネミ油症事件の現在 (下田順子)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596000901	科目番号 / Course code	05960009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	キャリア開発 「コミュニケーション概論」(総合科学科目) / Career Development 'Introduction to Communication'		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori, 上田 亜希子 / Ueda Akiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori, 上田 亜希子 / Ueda Akiko		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	相手とうまくコミュニケーションをとったり、望んだ人間関係を築いたりするためには「コミュニケーション力」が必要です。 この「コミュニケーション力」は、「生まれつきの性格」や「センス」ではありません。訓練で鍛えることができるソーシャルスキルです。 本講義では、心理学の見地から「コミュニケーション論」について学びながら、日常生活での「話す」「聞く」「書く」「交渉する」といったコミュニケーション力、そのために必要な「考える力」をスキルトレーニングやワークショップ形式で実践的に身につけることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	(1) 他者とのコミュニケーション場面において、目的に応じた自分のコミュニケーションスキルについて計画を立てることができるようになる。 (2) 自分の意見や考えをまとめ、わかりやすく論理的に伝えることができるようになる。 (3) 他者を理解し、相手も自分も尊重したコミュニケーションがとれるようになる。 (4) 学んだコミュニケーションスキルを日常生活で実践することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習課題(35点)+プレゼンテーション課題(20点)+ワーク・レポート課題(40点)+授業貢献度 (5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題として資料やスライドを作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートやワークシートなど作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	コミュニケーションスキル、自己表現スキル、スピーチ・プレゼンテーション、キャリア		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料や動画、参考文献などをLACSに掲載。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	講義中のワークに主体的に取り組む態度が身につけていること。 自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	企業が新卒採用選考で重視するポイントは、「コミュニケーション能力」が16年連続で第1位(経団連調査2018)。しかし、ここでいう「コミュニケーション能力」は「人前で話すことが得意」「誰とでも仲良くできる」等のことではありません。 学生時代に通用する「コミュカ」と、社会に出てから必要とされる「コミュカ」は別ものなのです。 社会に出てからも通用する本物の「コミュカ」を学生のうちから一早く身につけることで、大学生活をより充実させ、自身の望むキャリアを切り拓いていきましょう!
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにてニュース・報道番組のキャスター歴17年を経て現職。在局中から大学院に社会人入学。スピーチ・プレゼンテーション研究を行い、博士号取得。専門は心理学・コミュニケーション論。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	6月15日(水) オリエンテーション
第2回	6月15日(水) コミュニケーションとは?
第3回	6月22日(水) 話す力
第4回	6月22日(水) 聴く力
第5回	6月29日(水) 伝わるコミュニケーションのコツ
第6回	6月29日(水) 伝わるコミュニケーションのコツ
第7回	7月6日(水) 人前で話す～プレゼンテーション実習
第8回	7月6日(水) 人前で話す～プレゼンテーション実習
第9回	7月13日(水) オンラインでのコミュニケーション
第10回	7月13日(水) オンラインでのコミュニケーション
第11回	7月20日(水) 「自分」を伝える自己表現概論
第12回	7月20日(水) しぐさのコミュニケーション ～表情・視線・ジェスチャー
第13回	7月27日(水) コミュニケーション・トレーニング ～リーダーシップ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596001101	科目番号 / Course code	05960011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	キャリア開発 「プレゼンテーション基礎」(総合科学科目) / Career Development ''Presentation Basics''		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	プレゼンテーションについて講義と演習を行い、効果的なプレゼンテーションを行うための基本的知識を身につける。 スキルトレーニングを行いながら講義内で一つのプレゼンテーションを作り上げることで、実践的な技術の修得を目的とする。		
授業到達目標/Course goals	1. プレゼンテーションの基礎的な知識について説明できるようになる。 2. 目的に応じた効果的なプレゼンテーションを行うための案を立てることができるようになる。 3. 聴き手を意識したわかりやすい説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。 4. 他者のプレゼンテーションを評価することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート課題(40点)+プレゼンテーション課題(40点)+ワーク課題(15点)+授業への取り組み(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習(2h)...パワーポイントで資料や原稿等を作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートやプレゼンテーション等作成し、LACSから提出。		
キーワード / Keywords	自己表現、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料配布、参考文献や参考動画をLACSで提示する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	日曜日開講の集中講義です。日程確認のうえ受講してください。 5月29日(日) 10時から17時20分 6月5日(日) 10時から17時20分 6月12日(日) 10時から17時20分 7月3日(日) 13時から17時20分
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	講義の集大成としてのプレゼンテーション大会には、プレゼンターとしての登壇、または審査員としての参加のどちらかを選ぶことが可能。
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーションは、ただ「場数」を踏んだだけでは上手くなりません。学術的な知識を知った上で行う正しい方法によるトレーニングが必要です。学生時代はもちろん、社会に出てからも必須であるプレゼンテーションスキルを身につけましょう。 「プレゼンは得意」「人前に出ることが好き」という方はもちろん、「プレゼンなんてしたことない」「緊張して頭が真っ白になる」と苦手意識を持っている方も大歓迎です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにてニュース・報道番組のキャスター歴17年。起業後、政治家・経営者などにスピーチ・プレゼンテーション指導を行う。講演・研修実績多数。 著書に『その話し方では軽すぎます! エグゼクティブが鍛えている「人前で話す技法」』(すばる舎) 『【NHK式+心理学】一分で一生の信頼を勝ち取る法』(ダイヤモンド社) などベストセラー多数。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 5月29日(日)	オリエンテーション
第2回 5月29日(日)	プレゼンテーションとは? プレゼンテーションの歴史、スピーチとプレゼンテーションの違い
第3回 5月29日(日)	言語・非言語概論
第4回 5月29日(日)	プレゼンテーション実践
第5回 6月5日(日)	言語スキルトレーニング ~話の組み立て方・言葉遣い
第6回 6月5日(日)	論理的に話す技法
第7回 6月5日(日)	伝わるプレゼンテーションのコツ
第8回 6月5日(日)	プレゼンテーション実践
第9回 6月12日(日)	非言語スキルトレーニング ~表情・ジェスチャートレーニング、ボイトレーニング
第10回 6月12日(日)	上手いプレゼンテーションとは?
第11回 6月12日(日)	プレゼンテーション評価の基準
第12回 6月12日(日)	プレゼンテーション実践
第13回 7月3日(日)	プレゼンテーション大会 プレゼンターまたは審査員参加 【注意】場所:中部講堂
第14回 7月3日(日)	プレゼンテーション大会 プレゼンターまたは審査員参加 【注意】場所:中部講堂
第15回 7月3日(日)	プレゼンテーション大会 プレゼンターまたは審査員参加 【注意】場所:中部講堂

第14回	7月27日(水) コミュニケーション・トレーニング ～説得・交渉
第15回	8月3日(水) まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596001501	科目番号 / Course code	05960015
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	コミュニケーション基礎実践(総合科学科目) / Fundamentals and Practice of Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育開発推進機構アドミッションセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は「コミュニケーション基礎講座」の選択科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる基礎能力の育成をめざします。</p> <p>皆さんは大学や社会で求められるコミュニケーション能力とはどのようなものだと思いますか？大学や実社会では問題に対して一つの正答があるとは必ずしも限りませんし、回答が複数あることも数多くあります。そのため、大学以降では問題の要点を理解・判断したうえで、自分が考えた意見を人に伝えたり、自分と異なる意見を持った相手とも関係を構築するなどといったコミュニケーションのための様々な能力が求められます。</p> <p>この科目では、日本語の「読み」「書き」を中心に、プレゼンテーションやディスカッション等の基礎的な技能を高め、さらにソーシャルメディアの可能性や情報化社会が及ぼす影響について理解することによって、大学や社会で求められるコミュニケーション能力を全体的に高めていくことをめざします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1)与えられた情報の要点を理解し、要約することができる【本質理解】</p> <p>(2)調べたいテーマについて適切な方法で資料検索・調査ができる【情報収集】</p> <p>(3)正しい引用、注記方法を用いて論理的なレポートが書ける【計画立案力】</p> <p>(4)人の発表や意見を聞いたうえで、自分の意見をまとめ、述べられる【役割理解】</p> <p>(5)建設的かつ創造的に議論ができる【意見の調整・原因追究】</p> <p>(6)ものの見方、考え方には多様性があることを理解する【課題発見力】</p> <p>(7)自分自身で学習の習得状況を確認・分析・評価することができる【メタ認知】</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、課題およびリフレクションペーパーの評価で行います。課題70点、リフレクションペーパー30点の合計100点での評価を行います。 また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。 ・出席は8回以上（リフレクションペーパーの提出） ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 （課題については、期限外の提出は認めません）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークまたはグループ・ディスカッションをもとに学修を深め、理解を確実なものにするために、適宜復習とレポートの提出を求めます（1～2h）。
キーワード/Keywords	読解力、論理的思考、批判的思考、情報リテラシー、ライティング、ディスカッション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件はありません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では読み書きを中心としたコミュニケーション能力を実践的に育成していくため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1, 2回	オリエンテーション, ライティングの基礎を学ぶ
第3, 4回	論理的な表現とは, レポートの書き方を学ぶ
第5, 6回	コミュニケーションスキルについて学ぶ, ディスカッション・プレゼンテーションの基本
第7, 8回	論理的とは(1), (2)
第9, 10回	情報セキュリティについて, ソーシャルネットワークサービスについて
第11, 12回	思考力について学ぶ(1), (2)
第13, 14回	思考力について学ぶ(3), (4)
第15回	まとめと振り返り

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596001701	科目番号 / Course code	05960017
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	ダイバーシティ社会における課題とその解決(総合科学科目) / Issues and Solutions in a Diversity Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢内 琴江, 吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢内 琴江		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢内 琴江, 吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生, 2年生, 3年生, 4年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yauchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ダイバーシティ推進センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2889		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木 13:00 ~ 17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	ダイバーシティ社会の実現に向けて、どのような課題があるのかを、ワークライフバランス、ジェンダー、アンコンシャスバイアス、ジェンダー・セクシュアリティ、多文化共生などのテーマを通して考え、自分のキャリア形成や、社会をつくる一人の主体としての自分の生き方・働き方の探究にいかす。		
授業到達目標 / Course goals	自分の生き方・働き方のイメージを持つことができるようになる。自分のなりたい人物像を言葉にできるようになる。ダイバーシティ(多様性)やワークライフバランスの意味を理解して、自分の言葉で説明できるようになる。ダイバーシティの尊重や、ワークライフバランスを、自分の生き方や働き方に結び付けて考えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	リフレクション・ペーパー(30%) + プレゼンテーション(20%) + レポート(50%) = 100点 ・リフレクション・ペーパーは、毎回の授業後に書いて提出してもらいます。 ・プレゼンテーションは、授業の最終回に課題を小グループで発表してもらいます。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	必要に応じて指示します。 事前学習: 多様性という視点からは、自分の身の回りや、社会にはどのような問題があるのかを考えたり、多様な生き方や、働き方に関する情報(テレビ、インターネット、新聞記事、書籍など)に触れて、自分なりに考えること。 事後学習: 講義の内容や、受講生の意見などをふり返り、自分なりに気づきを言葉にすること。		
キーワード / Keywords	ダイバーシティ、ワークライフバランス、ジェンダー、セクシュアリティ、多文化共生、キャリア		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料を配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2948 （E-mail）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	長崎大学ダイバーシティ推進センター https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/ 長崎大学あじさいプロジェクト http://nagasaki-ajisai.jp/about/medicalworkcenter
学生へのメッセージ/Message for students	この講義を担当します、長崎大学ダイバーシティ推進センターの矢内琴江です。 これまでジェンダー・セクシュアリティと教育を専門にしてきました。私は、ダイバーシティ社会の実現において、一番大事なものは、一人ひとりが、「こんな自分でありたい」ということを実現できることだと思います。この授業では、身の回りや社会における様々な課題に気がついたり、様々な人たちの考えや経験に触れることを通して、どんな自分でありたいかを一緒に考えたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時） / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月13日）	オリエンテーション：ダイバーシティ社会と私（矢内琴江）
第2回（4月20日）	女性活躍推進とライフイベント（吉田ゆり）
第3回（4月20日）	女性活躍推進とライフイベント（吉田ゆり）
第4回（4月27日）	介護をしながら働くこと（井口茂）
第5回（4月27日）	介護をしながら働くこと（井口茂）
第6回（5月11日）	ワークライフバランス：私なりの生き方・働き方を考える（矢内琴江）
第7回（5月11日）	ワークライフバランス：私なりの生き方・働き方を考える（矢内琴江）
第8回（5月18日）	アンコンシャスバイアス（伊東昌子）
第9回（5月18日）	アンコンシャスバイアス（伊東昌子）
第10回（5月25日）	自分らしく生きる ジェンダー・セクシュアリティの視点から考える（矢内琴江）
第11回（5月25日）	自分らしく生きる ジェンダー・セクシュアリティの視点から考える（矢内琴江）
第12回（6月1日）	他者と共にゆたかに生きる 多文化共生の視点から考える（矢内琴江）
第13回（6月1日）	他者と共にゆたかに生きる 多文化共生の視点から考える（矢内琴江）
第14回（6月8日）	クロスセッション（小グループの中での課題のプレゼンとディスカッション）（矢内琴江）
第15回（6月8日）	ふりかえり（矢内琴江）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596002901	科目番号 / Course code	05960029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	事業創造・スタートアップ入門(総合科学科目) / Introduction to Business Development & Start-Up		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 唯, 上條 由紀子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 唯		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 唯, 上條 由紀子		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kami.jo.nagasaki-u.ac.jp(担当教員:上條由紀子) yui.h.nagasaki-u.ac.jp(担当教員:原口唯) メール連絡時は、必ず両教員宛に同報して下さい。は@に置き換えて送信してください。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務局:平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールまたは電話でアポイントを取って下さい。面談等は原則として授業実施日の授業前後の時間帯になります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、イノベーション、即ち、社会に新しい価値を創造する担い手である「スタートアップ」と呼ばれる企業を立ち上げるために必要なスキル、知識、マインドセットについて学習します。具体的には「スタートアップとは何か?」「社会に新しい価値を提供するためのビジネス(事業)とは?」「スタートアップに必要なチームとは?」「ビジネス(事業)に必要な資金をどのように集めるのか?」「ビジネスモデルやビジネスプランとは?」「スタートアップと市場」などのテーマについて学びます。また、新しい事業を創造し、社会価値を生み出すことに挑戦されている起業家や経営者をお招きし、実際のビジネスについてご紹介頂き、スタートアップによるイノベーション創出の意義についてお話いただきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に新しい価値を創造し、イノベーションを創出する担い手である「スタートアップ」起業を立ち上げるために必要なスキル、知識、マインドセットとは何かについて習得できる。 ・スタートアップとは何か、社会に新しい価値を提供するためのビジネス(事業)とはどのようなものか、スタートアップに必要なチームとはどのようなものか、ビジネス(事業)に必要な資金をどのように集めるのか、ビジネスモデルやビジネスプランを構築するにはどうすればよいか、などのテーマについて基礎知識を習得することができる。 ・スタートアップによるイノベーション創出の意義について理解できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への出席状況および授業への参加状況(発言、質問等)30点、授業毎に提出する課題レポート70点、合計100点として教員が総合的に評価する(60点以上を合格とする)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる資料やプリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと(2h)。事後学習として、授業後に出された課題レポートを作成しLACS等を通じて提出すること(2h)。
キーワード/Keywords	アントレプレナー、企業家精神、スタートアップ、イノベーション、テクノロジー、事業機会、ビジネスプラン、ビジネスモデル、ベンチャー、資金調達、組織、チーム、ファイナンス、
教科書・教材・参考書/Materials	授業において資料・プリント教材を配布する。 <参考書> ・アントレプレナーシップ入門ーベンチャーの創造を学ぶ(忽那 憲治, 長谷川 博和他著) ・はじめてのアントレプレナーシップ論(中村博樹著) ・起業の科学(田所雅之著) ・日経文庫経営学入門シリーズ ベンチャー企業(松田修一著)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講要件(履修条件)は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アントレプレナーシップ入門」(1Q)「アイデア創出・デザイン思考入門」(2Q)を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	イノベーションの担い手として社会に新しい価値を創造する「スタートアップ」について理解を深めたい学生諸君、実際に起業や新規事業立上げなどに興味があり挑戦する意欲がある学生諸君の参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	授業実施方法, 最新のゲスト講師及びスケジュールの変更, 講師実務経験内容等, 最新情報はWEBサイトを参照すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1~2回: 9月28日(水)5・6時限	1)オリエンテーション(授業概要及び進め方) 2)アントレプレナーシップとは何か? / スタートアップとは何か?
第3~4回: 10月5日(水)5・6時限	3)社会に新しい価値を提供するためのビジネス(事業)とは? / 新しいビジネス(事業)を創造するためのプロセスとは? 4)ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第5~6回: 10月12日(水)5・6時限	5)スタートアップに必要なチーム・組織とは? 6)ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第7~8回: 10月19日(水)5・6時限	7)ビジネス(事業)に必要な資金をどのように集めるのか? 8)ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第9~10回: 10月26日(水)5・6時限	9)ビジネスモデルやビジネスプランはどのように組み立てるのか? 10)ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第11~12回: 11月2日(水)5・6時限	11)スタートアップにとっての市場とは? / 顧客開発 / マーケティング 12)ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第13~14回: 11月9日(水)5・6時限	13)スタートアップをめぐる新潮流(SDGs・ESG投資・ソーシャルインパクト) 14)ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第15回: 11月16日(水)5時限	15)総括・まとめ / あなたのキャリアとアントレプレナーシップ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596003501	科目番号 / Course code	05960035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	長崎歴史文化学(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / History and Culture of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	papishige60.58devimayu snow.plala.or.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	papishige60.58devimayu snow.plala.or.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎史を通じて、長崎の視点から日本史、世界史も学びます。柱になるのはオランダ通詞の業績とキリスト教文化です。長崎と浦上の史跡探訪。ゲーム学習や簡単な聖歌歌唱、聖画模写、工作等が入ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 長崎学を通して学ぶことにより、長崎史の視点から中央史の歪みのある部分を指摘することができる。 2. 日本近代化の基礎を形作りながらも、世に忘れられたオランダ通詞の業績を、学び伝えることができる。 3. 浦上を中心にした本県の四百年にわたるキリスト教文化の変遷を、感動をもって実習することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の課題、感想提出、授業への取り組み・発表10点前後×6回=60点 蘭通詞回と最終レポートは15点 実習点10点 = 総計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 配布テキストに目を通したうえで講義にのぞむこと。(4h) 復習: テキスト、Q&A集を再読し、理解を確実にするよう努めること。(4h)		
キーワード/Keywords	祭り 巫女 漢字 地名 オランダ通詞 隠れキリシタン 聖歌と聖画 浦上の工業		
教科書・教材・参考書/Materials	初回にテキスト配布。Q&A集やフィールドワーク冊子は前時に配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	神功皇后伝説や祭・アニメにみる巫女の姿、地名・人名から尋ねる荘園と武士の世界、近世を開いた長崎の町と長崎の人たちの業績、また長大の位置する浦上が世界的な殉教の地、工業の地であること、これらを文献や映像、実習、フィールドワークで学びます。なお、天候や感染症に合わせて単元を入れ替え、配点を加減することがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	原口 茂樹 / 長崎県公立学校での41年間の授業経験 / 活水高等学校において8年間の長崎文化学の授業経験（継続中）
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. 祭の本質と長崎の祭 神功皇后伝説と神聖姫巫女 及び神子と市子 漢字と風土
第2回	2. シミュレーションゲームで学ぶ荘園と武士の起こり 地名と氏名から探す我々のルーツとなる荘園
第3回	3. 長崎くんちの奉納踊りやパイレーツ映画にみる大航海時代と戦国の開港 イエズス会の布教とセミナリヨ グレゴリオ聖歌と聖画 遣欧少年使節
第4回	4. 映画「沈黙」にみる弾圧の時代 「ガリバー旅行記」にみるオランダの時代 隠れキリシタンの文化実習～天地始之事（朗読）、歌オラショ（歌唱）、御前様お洗濯（描画）、オマプリ作り（紙工作）
第5回	5. <信仰の聖地・浦上フィールドワーク>（雨天時単元入替） サンタクララ教会跡、秘密教会跡、キリシタン墓地、ベアトス様殉教碑、山里小資料館、如己堂・帳方屋敷、浦上天主堂・鐘楼・資料館
第6回	6. 引き続き<浦上フィールドワーク> 浦上キリシタン資料館、医学部被爆遺構、高谷屋敷内神社・平ノ宿跡、天主堂遺壁、平和公園解散
第7回	7. 日本近代化の基点・長崎蘭学 オランダ通詞・吉雄耕牛とオランダ座敷 同僚・本木良永の真摯な翻訳作業 江戸蘭学の育成と弟子・杉田玄白の裏切り
第8回	8. 翻訳と造語の実際 二人の子弟、志筑忠雄、本木正栄、吉雄権之助らによる文法の解析とズーフハルマ辞書の完成、シーボルト事件による通詞団の壊滅 オランダ通詞と文法小テスト
第9回	9. <長崎フィールドワーク>（雨天時単元入替） 出島、岬の教会、各通詞邸跡、自治都市長崎の城壁と堀、勝山代官屋敷・教会跡、会所跡
第10回	10. 引き続き<長崎フィールドワーク> 歴史：立山奉行所、（諏訪神社、マグドナルド碑、堂門橋、桜馬場城、教会跡の春徳寺等）
第11回	11. 近代分岐・明治の国作りゲーム 唐文化と唐通事 長大と東大、前史の比較
第12回	12. ベリー艦隊は佐賀藩築造の長崎・四郎ヶ島台場に勝てたか 幕末金銀流失の真実
第13回	13. 大村藩の渡辺昇・鞍馬天狗と新選組、薩長同盟、浦上四番崩れの指揮 同期・長与専斎と衛生二人の後輩・長岡半太郎による原子模型及び朝永振一郎、湯川秀樹、仁科博士らノーベル賞集団の育成
第14回	14. 第二次大戦と浦上 近代科学とABC兵器 浦上洲村と戦艦 浦上家野村と魚雷
第15回	15. ミッションスクールと教養教育、ポップカルチャーの聖地長崎、Q&A解説、長崎学・浦上学レポート、中央への発信、CD製作の試み等
第16回	（予備回、自由実習の継続、質疑応答等）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596004501	科目番号 / Course code	05960045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	大学での学びを共に創る(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Co-creation of Learning at University		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学生にとって、高校までの受動的で知識習得型の学びから、主体的で創造的な学びへと学習観を転換することは必要不可欠である。本授業では、近年の大学教育に関連する重要課題・テーマに関する講義と、それら大学教育のテーマを題材とした読む・書く、そして、話し合う・発表するといったアクティブラーニングの実践を通して、学生に、教育の受け手としての受動的な視点だけでなく、大学教育を対象化し、大学の教育や学びについて主体的・創造的に考える態度や技能の習得を図る。それにより、学生が受動的な学習者から、能動的学習者へと成長することを支援する。</p> <p>本授業では演習のテーマとして、大学入試改革、大学教育の質保証、大学での学習支援、大学教養教育のあり方、大学教員の職能開発、大学図書館の役割、地域創生と人材育成など、現代の大学教育における重要課題を用いる。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 現在の大学教育の問題点を主体的に発見し、解決策を提案することができるようになる。 他の受講生とのコミュニケーション活動を通じ、他者との協働による問題発見や解決に必要な態度や技能を身につける。 大学での自身の学びを振り返りながら、今後の自分の大学生活について展望し、その実現のための課題と計画を立てることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・課題(40%) ・授業への取り組み、毎回の振り返りシート(30%) ・最終課題(30%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：予め提示する資料に基づき、ワークを行う(2h)。 事後学習：授業での学びをもとに課題やレポートに取り組む(2h)。		
キーワード/Keywords	大学教育学 大学での学び 問題発見学習 問題解決学習 アクティブラーニング		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、毎回資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	本科目は、担当教員が、秋田大学の教養教育科目「大学の明日をみんなで創る」で4年間、京都大学の大学院科目「戦略的コミュニケーション 세미나」で8年間、提供してきた内容や方法に創意工夫を施して開講しています。秋田大学での担当科目は毎年度、「学生からの評価が高い授業」に認定されてきました。特に、これから、大学で主体的に学んでいこうとする学生、アクティブラーニングに関心のある学生、大学教育を対象とした学問に興味のある学生の積極的な受講を期待します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	大学教育に関する講義（大学教員とFD）
第3回	演習：大学教育の課題を用いた「話し合い」
第4回	演習：大学教育の課題を用いた「話し合い」
第5回	演習：大学教育の課題を用いた「ネゴシエーション」
第6回	演習：大学教育の課題を用いた「ネゴシエーション」
第7回	大学教育に関する講義（大学評価と教育の質保証）
第8回	大学教育に関する講義（大学教育における調査）
第9回	演習：大学教育の課題を用いた「ディベート」
第10回	演習：大学教育の課題を用いた「ディベート」
第11回	大学教育に関する講義（大学における学習支援）
第12回	学生コースバトル
第13回	演習：大学教育の課題を用いた「パネルディスカッション」
第14回	演習：大学教育の課題を用いた「パネルディスカッション」
第15回	大学での教育・学習に関するプレゼンテーション
第16回	本授業のまとめと振り返り

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220596004701	科目番号 / Course code	05960047
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	九州学(総合科学科目) / Kyushu Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 選択科目, 総合科学科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	原則1年生(経済学部夜間主コースも含む)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自身が学生生活を営んでいる場がどのような背景を持つ土地であるのかを知るとともに、九州各県についても「歴史・文化」の視点から知識を得ることで、地域に対する魅力を探る。また、地域や世界の視点から「九州」について考えることで、「九州で九州を学ぶ」ことの意義を見出す。		
授業到達目標/Course goals	自身が興味を持った九州各県の「歴史・文化」の特徴や現状、課題について説明できる。 授業で取り上げた事物について、多角的に捉えて説明できる。 九州の魅力を様々な視点から考え、自己の考えを表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・小レポート25点×3回、最終レポート25点×1回 ・最終レポートを提出すること。 上記条件を満たし、合計100点のうち60点以上で合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACS等に資料を掲載するため、予め読んでおくこと。(2h) 各時間に提示された課題をLACSへ提出すること。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回～第7回	<p>以下10のトピック(予定)の中から、3つを選択して受講する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州大学 九州帝国大学と戦前期九州の高等教育機関(1) 九州大学 九州帝国大学と戦前期九州の高等教育機関(2) 九州大学 九州の水稲農耕の始まりと古人骨1 九州大学 九州の水稲農耕の始まりと古人骨2 佐賀大学 幕末の佐賀と学問－明治維新への道－1 佐賀大学 幕末の佐賀と学問－明治維新への道－2 長崎大学 長崎のキリスト教 長崎大学 近世の長崎 宮崎大学 牧水の短歌によむ故郷宮崎の自然 宮崎大学 牧水短歌の普遍性 宮崎大学 日向神話と神楽(1) 宮崎大学 日向神話と神楽(2) 鹿児島大学 稲盛和夫氏の経営哲学(1) 鹿児島大学 稲盛和夫氏の経営哲学(2) 熊本大学 九州の戦国動乱と戦場の村々 熊本大学 江戸時代の熊本自信と熊本城 熊本大学 教科書に出てくる熊本の荘園 熊本大学 現代に息づく荘園の祭り 鹿屋体育大学 現代に生きる薩摩の伝統的運動文化(1) 鹿屋体育大学 現代に生きる薩摩の伝統的運動文化(2)
第8回	まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220596004702	科目番号 / Course code	05960047
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	九州学(総合科学科目) / Kyushu Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 選択科目, 総合科学科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	原則1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自身が学生生活を営んでいる場がどのような背景を持つ土地であるのかを知るとともに、九州各県についても「歴史・文化」の視点から知識を得ることで、地域に対する魅力を探る。また、地域や世界の視点から「九州」について考えることで、「九州で九州を学ぶ」ことの意義を見出す。		
授業到達目標/Course goals	自身が興味を持った九州各県の「歴史・文化」の特徴や現状、課題について説明できる。 授業で取り上げた事物について、多角的に捉えて説明できる。 九州の魅力を様々な視点から考え、自己の考えを表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・小レポート25点×3回、最終レポート25点×1回 ・最終レポートを提出すること。 上記条件を満たし、合計100点のうち60点以上で合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACS等に資料を掲載するため、予め読んでおくこと。(2h) 各時間に提示された課題をLACSへ提出すること。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 集中講義で開講します。 11/1からLACSで資料が閲覧可能になります。
第2回～第7回	以下のトピックの中から、3つを選択して受講する。 九州大学 九州におけるシンクロトロン光利用研究(1) 九州におけるシンクロトロン光利用研究(2) 佐賀大学 有明海の環境(1) 有明海の環境(2) 大分大学 温泉学 - 大分の温泉 - (1) 温泉学 - 大分の温泉 - (2) 宮崎大学 南九州における魚・家畜の生産(1) 南九州のぶり類養殖とその環境 南九州における魚・家畜の生産(2) 粗飼料の自給と草地畜産 鹿児島大学 「九州の森林の生態系」回復と保全(1)～(5) 熊本大学 食の文化観光と伝統野菜の探訪 熊本の自然(植物編)と肥後の文化交流 熊本大学 肥後の温泉科学(1) 肥後は温泉天国 肥後の温泉科学(2) 体調に合わせた泉質選び
第8回	まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220596004901	科目番号 / Course code	05960049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	行動分析学入門(総合科学科目) / Introduction to Analysis of Behavior		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>【授業の概要】 20開講の選択科目「経験学習実践論」では、できたことノートのメソッドを活用して「できたこと」を内省(リフレクション)することによる行動変容の理論を学び実践してきた。本科目では、「できたこと手帳」を使った自身の実践を題材として、リフレクションの質を追求し、人は行動変容に至るまでにどのような内省が有効なのか、科学的なアプローチにより探求する。</p> <p>【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における選択科目である。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>以下を座学と演習によって身につけることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内省(リフレクション)を科学する5つの視点を理解することができる。 ・内省文の「詳細な事実」を、状況把握力の視点で分析できるようになる。 ・内省文の「原因の分析」を、論理的思考力と目的思考力の視点で分析できるようになる。 ・内省文の「本音の感情」を、感情知能力の視点で分析できるようになる。 ・内省文の「次なる行動」を、行動実践力の視点で分析できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>以下について総合的に判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「できたこと手帳」への記述が、継続的に十分な量と質で書かれているか ・内省文の自己分析シートの提出回数と記述内容 ・最終回授業にて取り組むレポートの記述内容 <p>原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H)</p> <p>【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H)</p> <p>【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)</p>
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	<p>【教科書】永谷研一『できたこと手帳』, クロスメディア・パブリッシング, 2017年 . ISBN : 9784295401100</p> <p>【参考書】永谷研一『月イチ10分できたことを振り返りなさい』, ダイヤモンド社, 2018年 . ISBN : 9784478105221</p>
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>
備考 (URL) /Remarks (URL)	「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト： https://dekitaoto.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	<p>本科目を履修するにあたっては、授業内容が選択科目「経験学習実践論」で習得した「できたことノート」をベースとしているため、その単位を修得していることが望ましい。なお、初回授業にてこのメソッドの概要を講義するので、特に単位未修得者は自身で実践の上、授業に臨んでください。</p> <p>今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとても重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
9月28日(水) 3校時	<p>【ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験学習実践論の復習 ・この授業に臨むにあたって
10月5日(水) 3校時	<p>【リフレクションを科学する5つの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況把握力、論理的思考力、目的思考力、感情知能力、行動実践力とは
10月19日(水) 3校時	<p>【内省文を状況把握力で分析する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「詳細な事実」を状況把握力の視点で分析して考察する
10月19日(水) 4校時	<p>【内省文を論理的思考力、目的思考力で分析する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「原因の分析」を論理的思考力、目的思考力の視点で分析して考察する
11月2日(水) 3校時	<p>【内省文を感情知能力で分析する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本音の感情」を感情知能力の視点で分析して考察する
11月2日(水) 4校時	<p>【内省文を行動実践力で分析する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次なる行動」を行動実践力の視点で分析して考察する
11月16日(水) 3校時	<p>【分析レポートを評価する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析レポートに対して評価とフィードバックを行う
11月16日(水) 4校時	<p>【全体の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を通じて学んだこと（ワールドカフェ） ・明日からの自分へのエールを（レポート記述）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220596005101	科目番号 / Course code	05960051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	行動分析学実践(総合科学科目) / Practice to Analysis of Behavior		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>20開講の選択科目「経験学習実践論」では、自分でできたことノートを実践して、できたことを見つめる技術、感情を観察する技術、内省により、新たな行動を見出す技術、自分軸を通じてありたい姿を見つめる技術を学んだ。</p> <p>コルブ(D.A Kolb)の経験学習理論のサイクルを自分で回せるようになった状態である。本科目では、これらの技術を人に教える立場として、他者のできたことノートの実践を支援・助言するファシリテーション等の指導技術を習得することを目指す。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における自由選択科目です。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>以下の5つの技術を座学と演習によって身につけることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を高める手法として、できたことを見つめる技術を活用し、教えられるようになる 自分の感情を見つめる手法として、感情コントロール技術を活用し、教えられるようになる 経験から学び行動分析する思考法として、論理的思考法と批判的思考法を活用し、教えられるようになる 内省から見出した行動計画の実践法として、行動変容技術を活用し、教えられるようになる 自分の軸を見出す技術として、ありたい姿抽出技術を活用し、教えられるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>以下について総合的に判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書「できたこと for School」の記述内容 ファシリテーションの実践内容 最終回授業にて取り組むレポートの記述内容 <p>原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H)</p> <p>【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H)</p> <p>【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)</p>
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	<p>【教科書】できたことノートforSchool, ファシリテーションガイド</p> <p>【参考書】永谷研一『月イチ10分のできたことを振り返りなさい』, ダイヤモンド社, 2018年 . ISBN : 9784478105221</p>
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>
備考(URL)/Remarks (URL)	「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト : https://dekitaoto.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	<p>本科目を履修するにあたっては、授業内容が選択科目「経験学習実践論」で習得した「できたことノートのメソッド」をベースとしているため、その単位を修得していることが望ましい。なお、初回授業にてこのメソッドの概要を講義するので、特に単位未修得者は自身で実践の上、授業に臨んでください。</p> <p>今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとても重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
11月30日(水) 3校時	<p>【ガイダンス & Day1体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験学習実践論および「できたことノート」を理解する ・教材「できたことノート for School」の流れを理解する ・Day1「感情を見つめる。できたことを見つける。」を受講する
12月7日(水) 3校時	<p>【ファシリテータを理解する & Day2体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの心得と基礎技術を学ぶ ・Day2「内省しよう。行動変容しよう。」を受講する
12月21日(水) 3校時	<p>【Day3体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Day3「ありがたい姿を見出す。」を受講する ・以下を理解した上で、ファシリテーションを実践する 安心・安全の場づくり、揺らぎのない自信を得るまでの道のり、 欠けたところに着目しがちな人間の特性、感情の種類、 自己肯定感が低下したときの5つの特徴を理解、メタ認知
12月21日(水) 4校時	<p>【Day1「感情を見つめる。できたことを見つける。」のファシリテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下を理解した上で、ファシリテーションを実践する 感情に着目させる方法、数字に着目させる方法、 相手に着目させる方法
1月18日(水) 3校時	<p>【Day2「内省しよう。行動変容しよう。」のファシリテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下を理解した上で、ファシリテーションを実践する 「詳細な事実」「原因の分析」「本音の感情」「次なる行動」を 記述させる方法
1月18日(水) 4校時	<p>【Day3「ありがたい姿を見出す。」のファシリテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下を理解した上で、ファシリテーションを実践する 瞑想の手法、自動思考の理論、不安から行動が起きる理論、 目的思考を深めるための理論、自分軸でありたい姿を見出す方法

2月1日(水) 3校時	【ファシリテーションの相互評価】 ・相互評価を行い、ファシリテーション技術を高める
2月1日(水) 4校時	【全体の振り返り】 ・全体を通じて学んだこと(ワールドカフェ) ・明日からの自分へのエールを(レポート記述)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596005301	科目番号 / Course code	05960053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	産学連携プロジェクト(総合科学科目) / Industry-University Collaboration Project		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白井 章詞		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白井 章詞		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白井 章詞		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	履修登録者の定員は30名です。定員をこえた場合、抽選になる可能性があります。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shirai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部6F616		
担当教員TEL/Tel	095-819-2952		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日10:00~12:00。事前にメールで連絡して下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義の目的は、日本を代表する業界・企業と連携し、働くうえで基礎となる職能能力を身につけることです。具体的には、各社が取り組んでいるプロジェクトや業務内容、あるいは抱えている課題に対して、講義とワークショップ形式で学んでいきます。社会人ゲストの講話がすべての業界や職種に当てはまるわけではありませんが、ビジネスの第一線で働く人との触れ合いを通して、皆さんの卒業後のキャリアを考える機会にしてください。なお、社会人ゲストの都合により、実施内容に変更が生じることもあります。		
授業到達目標/Course goals	他者と協働する知識・スキルを就職すること。問題や課題を考える際に、多様な視点から考えられるようになること。アイデアを他者に説得的に伝えられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題への取り組み(40%)、討論(40%)、出席(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業内に指示します。		
キーワード/Keywords	キャリア、キャリアデザイン、職業能力、PBL		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内に紹介します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	企業と連絡した教育実践になります。そのため、正当な理由のない遅刻、マナー違反については厳しく対処します。
学生へのメッセージ/Message for students	グループワークやグループディスカッションに対して、積極的に取り組むことで、卒業後のキャリアや働き方についても少しずつ考えて見て下さい。 なお、参加企業と順番については、変更になることがあります。必ず、初回のオリエンテーションに参加して下さい。 本講義では、長崎大学キャリアセンターと共同で実施します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	白井章詞 / 民間企業における人事業務 / 日系企業、外資系企業における人的資源管理の特徴と違いについて事例を交えながら解説
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	他者との協働を考える (チームワークの基礎スキル)
第3回	外資系金融機関における業界動向と求める人材像
第4回	コンサルティングに関するワークショップ
第5回	エアライン業界の動向と求める人材像
第6回	空港、もしくは機内での新しいサービスの開発に関するワークショップ
第7回	印刷業界の動向と求める人材像
第8回	地域活性化プランの作成ワークショップ
第9回	商社の仕事と求める人材像 (専門商社)
第10回	トレーディングのワークショップ
第11回	商社の仕事と求める人材像 (複合商社)
第12回	トレーディングのワークショップ
第13回	総合電機メーカーの仕事と求める人材像
第14回	モノづくり企業における営業職に関するワークショップ
第15回	旅行業界の動向と求める人材像
第16回	旅行プランの開発に関するワークショップ